



おめでとう はじめてのバースデー

HAPPY BIRTHDAY ◎8月に満1歳になる子どもたちを紹介します



8.31
山本 衣織くん 上川西
初めまして衣織です☆ 早くみんなと一緒に散歩がしたいな♡



8.20
成田 鈴夏ちゃん 林慶
まんま大好き♡ 早くみんなと同じご飯が食べたいな♪



8.10
池田 理華ちゃん 河内5
好奇心旺盛な私♡ 早くお兄ちゃんたちと一緒に遊びたいよー！

親子で気軽に遊びに来てね 「おだっこ広場」のご案内

内子町子育て支援センターでは、子育て中のお父さん・お母さんやお子さん同士の交流の場として「おだっこ広場」を開いています。気軽にお立ち寄りください。

◎開設日時(予定)

開設日	時間
9月8日(木)	午前9時30分～午後4時
10月7日(金)	
11月7日(月)	
12月7日(水)	
1月17日(火)	
2月8日(水)	
3月9日(金)	

※小田地区の育児相談日と同じです。

◎場所

小田保健センター

◎対象

0～5歳児とその保護者
※保護者が同伴の場合は、小学生も利用可。



◎その他

- ・内子町子育て支援センターの職員1人が常駐します。
- ・ランチスペースでは、昼食(各自用意)を取ることができます。

【問い合わせ】

内子町子育て支援センター

☎0893(44)6355

皆さん「みそ」は好きですか。わが家は大のみそ好き。みそ汁はもちろん、おでんにパスタ(トマトとみそって合うんです。ぜひお試しを)、お菓子にパンに。娘が小学1年生のとき、みそクッキーを焼いてくれました。これが意外とおいしいのです。みそにはいろいろな効用があり、その一つに脳細胞を活性化させる効果があるとか。なんて素晴らしいお・み・そ。

こんなみそ好き家族は年に一回、みそを手づくりします。これまた楽しい作業です。そして娘が通う小学校の先生とみその話で盛り上がり、授業でみそ造りをすることに。先生も子どもたちも参加したお母さんもみそ造りは初めてというなか、娘が描いた絵をもとに紙芝居仕立てで造り方を説明し作業開始。煮大豆をつぶして麴を混ぜ、丸めてかめに入れます。みんな積極的に取り組んでくれました。

た。大豆は町内の友人が無農薬・無化学肥料で栽培したもの。半年ほど教室で寝かせて、このみそとみんなで再会する予定です。

授業の後、みんなから「楽しかった。またやってみたい」とうれしい感想をもらいました。そんなみんなに、私からお礼の便りです。「今は何でも売っていて、買って済ませられる便利な時代ですね。でも昔は、みそをはじめ何でも手づくりしていました。その食べ物のもと、畑で種まきから始める人も多かったのです。そこには買って済ますと分からないこと、食べ物を作り出す苦労、その反対の喜びや面白い発見もあったのではないかな。

みそはじっくり寝かせるほど、おいしくなっていくんですよ。時間はかかるけれど、本物の味が味わえるのを待つのも、今の私たちにとってはとてもぜいたくで、貴重な

時間のように思います。

ささやかなみそ造り体験でしたが、みなさんもみそのようにゆっくりと、味わい深い大人へと成長してくれることを願っています。

また手作りしてみてね。どうもありがとう。みそ好き母さんより」

▼次は、忽那忠孝さん(長田)をお願いします。



MONTHLY RUNNER

おみそのように

加藤 美穂さん(長田)

みんなでつないで リレーエッセイ

◎町民の皆さんから皆さんへエッセイをつないでいくコーナーです。お誘いが来たら、ぜひ書いてくださいね。

問 町のマイクロバスをスポーツなどの各種団体で借りることはできないのでしょうか。
(30代・女性)

答 町が保有するマイクロバスは、法令上、町の業務(町営バスの運行など)を行うために必要な場合にのみ使用が可能となっています。これは町有車両を貸し出すと、民間の輸送事業者の経営を妨げることになるためです。また車両に付加している保険は、不特定多数の人が運転する場合は補償の対象となりません。

◎皆さんの「声」をお寄せください

まちの声



このような理由から、町が保有するバスを一般の個人や団体に貸し出すことはできませんので、ご理解をお願いします。

なお内子町社会福祉協議会が保有するマイクロバスも、基本的には業務上必要な場合にのみ使用していますが、社会福祉関係団体が研修などに使用する場合に限り貸し出すことができます。

(総務課 管財係)

●住所・氏名が明記されている場合のみ掲載します。
●紙面などの都合で全てを掲載できない場合があります。ご了承ください。

【宛て先・問い合わせ】
〒795-0392
内子町役場 総務課
政策調整班 広報・広聴係
☎0893(44)2111
✉koho@town.uchiko.
ehime.jp

広報クイズ QUIZ

◎正解者の中から抽選で10人に図書カード(500円分)をプレゼント

広報うちこ(8月1日号)を読んで、①～⑤番の丸印の空欄をひらがな・カタカナでうめてください。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉ができるでしょう。

※小さい「っ」「ゅ」なども一文字です。濁点が付いている「が」なども一文字です。

- ①内子尚武倶楽部は6月18日、「○・●○○野球」の親善試合に参加しました。
②今号の人☆キラリは、現役の○○○●○選手として活躍する玉岡さん。
③7月10日、内山青年会議所が「ミニ●○○○」の清掃を行いました。
④企業組合内子ワイナリーは「○○○●○」100杯のワインの醸造を始めました。
⑤9月10日に「○○○○○○○●と福祉のつどい」が開かれます。

■応募方法■ ハガキに、クイズの答え、氏名、住所(行政区)、年齢を書いて送ってください。応募は1人1通までです。

■宛て先■ 〒795-0392
内子町役場 総務課 広報・広聴係

■締め切り■ 9月1日(消印有効)
■当選者発表■ 広報うちこ(10月1日号)

6月1日号	城戸 政雄(内子9)
クイズ当選者の皆さん	坂本ヨリエ(内子13)
(敬称略)	宮岡クニ子(内子16)
	松本美智恵(松尾)
	森本美枝子(今岡)
●正解	久保 常子(川中1)
かたつむり	徳永 隆(川中2)
●応募数 64	谷口 久子(石畳7)
●正解数 64	松居富美子(東沖)
	外木 宏明(神奈川県)

愛媛県に本拠地を置くプロサッカーチーム「愛媛FC」。曾根晃太さんは、その下部組織の「愛媛FCジュニアユース」に所属しています。

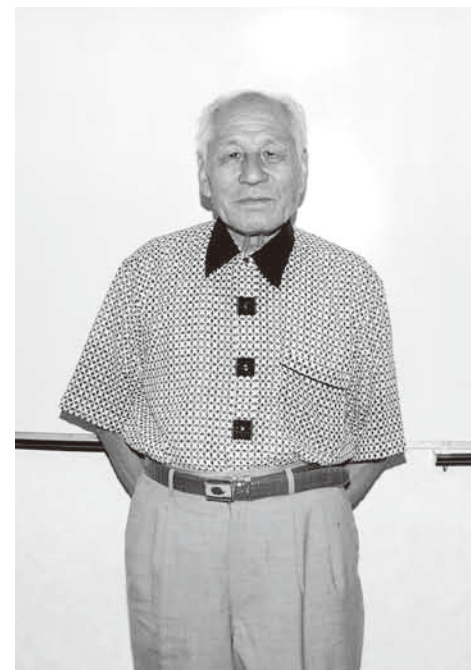
入団テストに合格した中学1～3年生約50人が活動する同チーム。練習は週4回で、学校が終わってから、グラウンドがある松山市まで通っています。「県内各地から上手い選手が集まっている。一緒にプレーするのは勉強になるし、楽しい」と話しています。

ポジションはサイドハーフ。「ドリブルが自分の長所。試合で活躍できたときはとても楽しい。点を決めたときが一番うれしい」と話していました。印象に残っている試合は「昨年静岡県で開かれた中学1年生が出場する大会で、5位になれたことがうれしかった」といいます。

チームは6月に行われた四国大会で優勝し、全国大会へ出場。3年生が中心のチームで、先発メンバーに入るのは難しいそうですが「一生懸命練習して、早くスタメンで活躍できる選手になりたい」と話す曾根さん。「卒業後もサッカーを続け、全国大会に出たい。そしてプロのサッカー選手になりたい」と話していました。



愛媛FCジュニアユースで活躍
曾根 晃太さん(五十崎中2年)平野



全国大会出場の現役ボウラー
玉岡 武雄さん(80)内子5

内子町の人★キラリ

◎若者と大人。異なる世代の皆さんに、頑張っていることや楽しんでいることを聞きました。「キラリと光るエコロジータウン・内子」の光の源です。